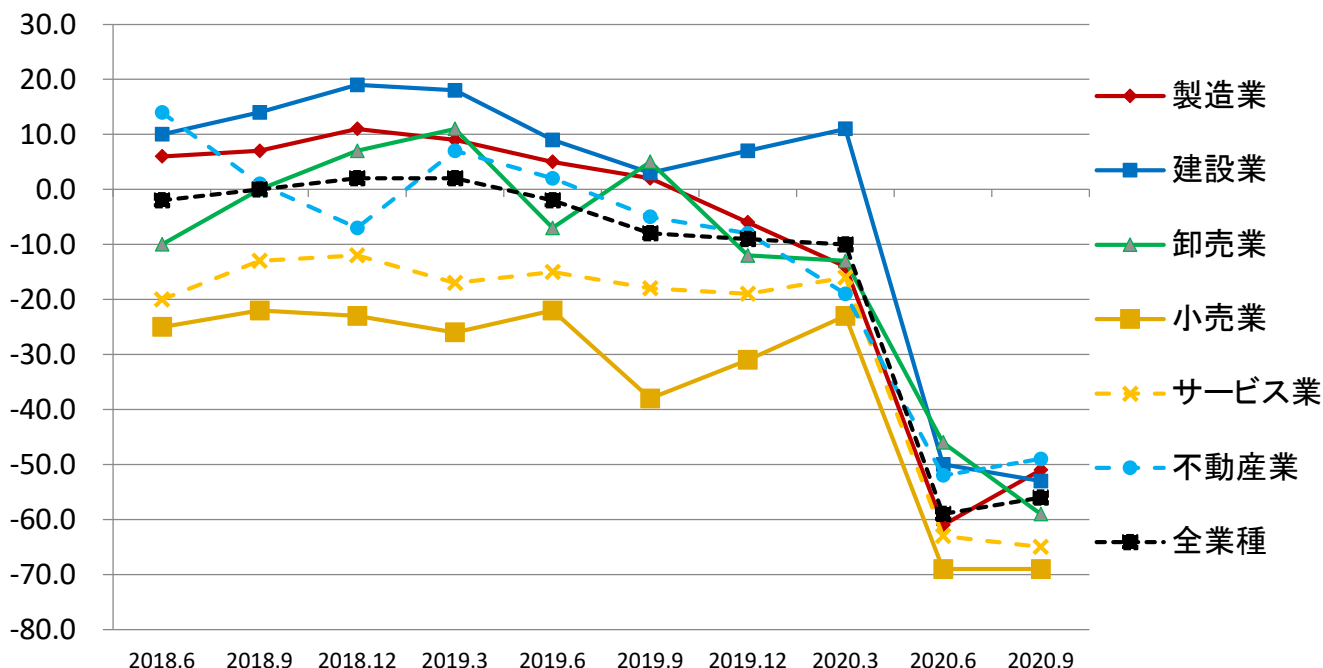


福生市商工会 経営だより

1. 多摩地域の小規模企業業種別業況判断DIの推移



※製造業・建設業は19人以下を、卸売業・小売業・サービス業は4人以下を小規模企業としています。
出典：多摩信用金庫 多摩けいざい No.93

2. 業況判断DIの分析

全業種で見ると前期から46~69ポイントのマイナスで過去に例のない落ち込みになりました。御存知の通り新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みで緊急事態宣言や営業自粛要請、ステイホームなどの影響が色濃く残っています。GO TO トラベルキャンペーンも東京発着が除外された関係で、9月もまだ回復の兆しは厳しいものとなっています。しかしながら9月中旬以降の感染者増加傾向が徐々に弱まり、経済活動も再開しました。売り場に人手が戻りつつあり、遠出はせずとも自粛生活からは少しだけ開放され始めています。

3. 中小企業診断士の一言

新型コロナウイルス感染症により、さまざまな補助金・助成金・給付金が設けられました。一通り申し込みや手続きが完了したように思えますが、一部の方は自分が対象ではないと勝手に決めつけて手続きをしない事業者の方もいます。自身が対象か否かは自身で判断せずに、商工会にご相談ください。

また感染症対策のための設備投資やガイドラインに準じた設備導入などに使える補助金・助成金もあります。事業を再開するにあたり、新常态を確立すべくどのような設備でどのようにお客様を迎えるのかをじっくり考えましょう。必要な設備はキチンと整えた上でコロナ収束後に備えることが重要です。

4.主要業界のトレンド

【全体】

新型コロナウイルスの猛威により、各業種で活動が大幅に縮小されました。第2波とも呼ばれる新規感染者の増加が見られましたが、9月の連休には観光地で多くの賑わいを確認することができました。一人ひとりが新しい日常の習慣になれ始め、迎える側、訪れる側もできる限りの感染予防対策をすることが常識であることを理解しています。新たな時代の商いを新常識として意識しながら創っていきましょう。

【製造業】

各地で地域の製造業の技術を結集し、足踏み式消毒液スタンドなどの共同制作が行われています。いろいろな事業者の技術が詰まっていますが、そこでできた関係性を今後の製品開発に活かしてみることが重要です。異なる業種のコラボレーションは新たな商品のヒントになりますし、できることの幅が広がります。コラボレーション相手探しも商工会にご相談ください。

【サービス業】

もともとセルフサービスを前提としていない業態でも、衛生面から店員が運ぶより、自身で受け取ったほうがよい顧客も出てきています。また食べ終わった食器も自身で片付けることにさほど抵抗はありません。レジ袋の有料化も追い風にして、この機会に店のオペレーションを変えてしまい、少ない人数で運営できる仕組みを構築するのも良いでしょう。

【小売業】

GO TO トラベルキャンペーンの15%分の地域共通クーポン券をいかに活用していただくかがポイントになります。チケットは1000円単位になり、お釣りは出せません。消費者心理から言えば、お釣りが無いような金額のものを購入したいと考えます。そこで、店側で1000円でお得にかえるセットの準備や商品組み合わせの参考例などを掲示し、この店舗で購入すると無駄なく使えることをアピールしてはいかがでしょうか。

【建設業】

コロナ対策の補助金にガイドラインに準じた設備を導入するものが現れるなど補助金・助成金の活用により建設業関連の取引が一部活発化しています。ある程度ガイドラインを把握すれば、どのような設備が必要かは導入側（発注側）より建設業に携わる方のほうが詳しいのではないのでしょうか。そこでコンサルティングを含めた設備導入の相談を受けたり、自ら関連情報を発信してみてもはいかがでしょうか。地元の店は街の建設業者であれば安心して任せられるでしょう。

5.小さな企業の新たな取組みのためのヒント

自粛ムードも徐々に解禁に向かっており、世界各地で経済活動が再開しています。11月のアメリカ大統領選の行方や日本での新政権の運営で一気に情勢が変わる可能性もあります。押印文化がついに終止符が打たれるかもしれません。また遅かれ早かれ書類の電子化が進むことは間違いのない事実ですから、今のうちからITについてしっかり準備しておくことが重要です。デジタル取引が開始してからでは、波に乗り遅れてしまいます。お困りの際は商工会にお尋ねください。